

設備保全業務体験シミュレーター

VR技術を活用し 手順が複雑な配電設備の 解体調査を支援します



背景・目的

- 配電設備が原因で故障停電が発生した場合、速やかな原因究明とお客さまへの説明が必要になります
- 原因究明に必要なノウハウを効果的に習得するため、VR (Virtual Reality: 仮想現実) を用いて配電設備を再現することで、「何時でも・何処でも・何度でも」トレーニングできる環境作りを目指します

特長

- 設備故障の原因究明に必要な「判断基準」や「コツ」を学びながらトレーニングできる
- 自ら業務を繰り返し体験できることで、知識の定着に貢献
- 現実では解体しなければ確認できない内部構造を「覗き込んで確認」することができる
- モデルを追加することで、複数のトレーニング環境が整備可能(今後、変圧器等も追加の予定)

用途

- 配電設備の解体教育
- 配電設備の巡視、点検、改修などの教育

現場業務をバーチャル世界に再現

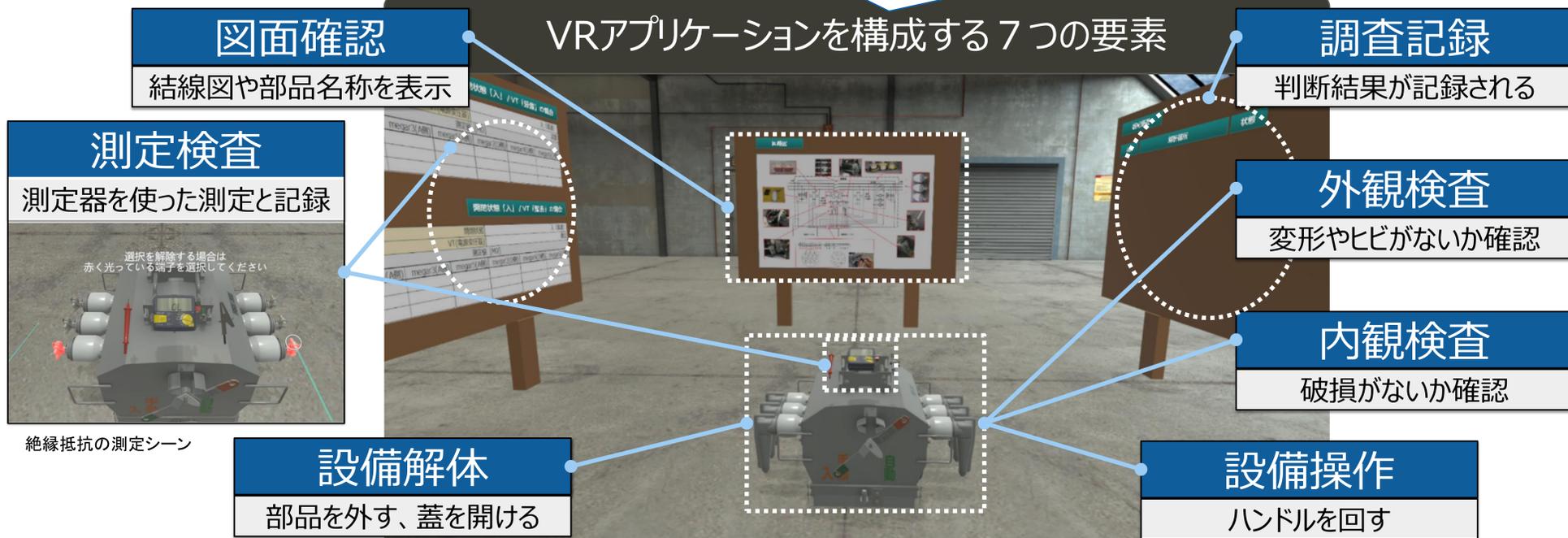


VRアプリケーションの操作手順



- 左右のコントローラーで設備の調査ポイント(部品)を選択
- 調査ポイント毎に部品の正常・異常を判断し結果を記録する
- 自身の調査結果を元に不具合原因を特定する
- 調査結果の正誤判定を表示する

VRアプリケーションを構成する7つの要素



開発者の
ひとこと

VR技術を用いることで、実施頻度の少ない業務やで準備することが難しい配電設備のトレーニングが可能になります。また、配電保全業務以外にも、このような支援を必要としている業務は数多くあります。今回のVR技術以外にもARやMR技術を活用した業務支援を目指します。